

wamiles Charity concert 2024

11月11日(月)

18:00開演(17:30開場予定)



ワミレス 東京チャリティーコンサート 2024

Violin: 柏原大蔵 Piano: 有吉英奈 Cello: ナサニエル・ローゼン

TICKET ¥2,500

※小学校高学年よりご入場いただけます。(チケットは一律2,500円頂戴いたします。)
※収益金の一部をチャリティーとして寄付させていただきます。

銀座 王子ホール

東京都中央区銀座4丁目7番5号
王子ホールディングス本館 2F

JR「有楽町駅」下車 銀座口から徒歩7分 地下鉄「銀座駅」下車 A12出口から徒歩1分
「銀座一丁目駅」下車 8出口より徒歩5分 「東銀座駅」下車 A2出口から徒歩2分

主催 / ワミレスコスメティックス(株)

協力 / (株)ウインズ、(株)ブラザーラボーネ、(株)ワミレス

※お問い合わせ、チケットのお申し込みは販売会社をお願いいたします。



PROFILE

Cello

Nathaniel
Rosen



ナサニエル・ローゼン

1948年カリフォルニア生まれ。1977年アメリカ、ヌーンバーグコンクール優勝を機に米国内デビュー。ピッツバーグ交響楽団の首席チェリストに就任。翌年、1978年第6回チャイコフスキー国際コンクールでアメリカ人初のチェロ部門第1位を受賞。以降世界的名手として広く知られるところとなる。ロサンゼルス交響楽団を始めとして、世界各地のオーケストラにソリストとして招かれる。ジョン・ウィリアムス指揮、ボストンポップスとのチャイコフスキー/ロココの主題による変奏曲共演も話題となった。過去における来日は、チャイコフスキーコンクール優勝後、東京、大阪でのリサイタル。1966年～1999年の笛吹国際音楽祭、2002年札幌、2004年清水勝雄メモリアルコンサートにて、皇后陛下のご来臨を賜る。インターロックン夏期室内楽音楽例祭の芸術監督、アラスカ・シトカ夏期音楽祭の創始者の一人でもある。ダラス市のサウスメソジスト大学、ニューハンプシャー州トーマス大学、マンハッタン音大にて教鞭をとる。2011年より日本に移住。現在、愛媛県在住、愛媛を中心に演奏活動や後進の育成にあたる。

ナサニエル・ローゼン公式サイト



Violin

Daizo
Kashihara



柏原 大蔵

1976年生まれ、愛媛県出身。99年愛媛大学卒業後、渡チェコ。プラハ・コンセルヴァトワール修了後、チェコフィルハーモニーオーケストラのフランティシェック・ハプリンに師事し、演奏活動も行う。5年間の留学生活でヨーロッパと日本のクラシック音楽の差を痛感し、クラシックを身近な音楽として日本で浸透させたい信念で、カルテットやアンサンブルを結成。帰国後、これまでに四国四県の学校や福祉施設、病院など100箇所以上を回り、草の根活動を行い多数のコンサートを開催する一方、日チェコ融合舞台「菊花の約」の作曲、現在FM愛媛でWeekend Classicのメインパーソナリティをつとめる。1785年製、ガリアーノを使用。

Piano

Ena
Ariyoshi



有吉 英奈

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。チェコ・プラハ音楽院へ留学。パールフィー宮殿にてソロリサイタルを開催。在学中にコンセルヴィヴァン第12回新人オーディションに合格、プライム・コンサートに出演する他、ヤングアーティストフェスティバルinプラハ、CZECH・LIBEREC音楽祭など、数々のコンサートに出演。帰国後はアンサンブルピアニスト、ピアノ講師として活動しながら内外のアーティストと共演、また国内各地にてチャリティーコンサートにも出演。鎌田實氏プロデュースCD「がんばらない」レーベルの『ふるさと』収録に参加。これまでにピアノを大越眞里子、ミハル・レゼック、室内楽をヴラダン・コチの各氏に師事。現在、昭和音楽大学及び同短期大学器楽伴奏非常勤講師、秋草学園短期大学ピアノ非常勤講師。

【今回の聴きどころ】

メンデルスゾーン チェロソナタ第2番

メンデルスゾーンの絶頂期、1843年に
作曲された名曲として知られている一曲です。

人の声に最も近い弦楽器のチェロ。
その音域で癒し効果が高いことでも知られています。
円熟味を増したナサニエル・ローゼンの音色で
心の癒しの時間を送って頂ければと思います。



wamiles

収益金の一部をチャリティーとして寄付させていただきます